

## 【国東市長賞】

### 変わる税金

国東市立志成学園 八年 安見 彩里

みなさんは、税金がどのようなことに使われているか知っていますか。税金は、年金、医療などの社会保障、福祉や水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛など、色々なことに使われています。身近なものであれば、私たちが通う学校の物にも使われています。机や椅子、黒板、教科書などがあります。私は、こんな身近なものに使われていることを知り、驚きました。

先日、私は実際に税金に関わることをさせていただきました。それは、武蔵町の成吉地区に新しくできた「らんかん橋」です。私はその橋に設置される橋名板を書かせていただきました。地元でできた橋に関わることができてとてもうれしかったです。

それから、「らんかん橋」が造られ始めてからの年月にも驚かされました。実は、この橋の改修工事が始まったのは十年も前です。十年前の私はまだ、四歳のころです。こんなにも前から、税金を使って市民のために取り組んでくれていたとは思いませんでした。そして、この橋にも税金が使われていることを初めて知りました。

さらに、武蔵町の武蔵川にある可動堰にも税金が使われています。可動堰とは、ゲートがついており、そのゲートが開け閉めす

ることによって、川の水位の調節をすることが出来るものです。こちらも数年前に造られたもので、これにも税金とたくさんの方々が関わっています。これは、大雨や台風による川の洪水を防ぐために造られています。これがあることで、武蔵川も守られてきたのかなと思いました。

このように、税金は様々なものに使われています。私は、税金の使われ方を知る前は、どうして税金を払うのだろうと思っていたので、橋名板やこの作文はとても良い機会になりました。これからも、らんかん橋や可動堰のようなすばらしいものに税金が使われるといいなと思いました。物に変わらなくても、災害時の支援金や復興など、何かしら役立ってほしいと思います。